

## 運 営 推 進 会 議 記 録

事業者名 名称：社会福祉法人 浦幌町社会福祉協議会  
住所：十勝郡浦幌町字北町 8 丁目 1

事業所名 名称：通所介護センターうらほろ  
住所：十勝郡浦幌町字北町 8 丁目 1  
サービス種類：認知症対応型通所介護.

日時 平成 29 年 9 月 27 日(水) 第 1 回 18：00～19：00

場所 浦幌町保健福祉センター 会議室

出席者	社会福祉協議会事務局長	永澤 厚志
	利用者様ご家族	1 名
	地域住民代表	安藤 忠司様
		斉藤 貴美子様
	地域包括支援センター所長	志賀 裕子
	ケアプランセンターうらほろ	
	ケアマネジャー主任	唐澤 隆則
	通所介護センターうらほろ管理者	佐藤 関子
	通所介護センターうらほろ生活相談員	横田 道子
	通所介護センターうらほろヘルパー	額瀨 麻由子

### 議題 ①挨拶

司会進行担当の横田生活相談員は本日の出席を謝し、永澤事務局長に挨拶を要請。  
永澤事務局長は本日の出席を謝し、本会議は平成 28 年 3 月の介護保険法の改正を受け、町が今年 3 月に改正をしたところであり、社会福祉協議会は 6 月の理事会において、通所介護事業所運営推進会議設置要綱をしたところであることを述べ、推進委員を快諾していただいたことを謝し、開会の挨拶とした。

### ②構成員、職員紹介

本会議の構成員を知っていただくため、利用者様ご家族様から簡単な自己紹介をしていただいた。

### ③施設見学

横田生活相談員は佐藤管理者に案内を要請。佐藤管理者は出席者にふれあいルームへの移動を依頼した。

佐藤管理者は設立の経緯について、地域の認知症の方が、ご家族の仕事の事情等により外に出ることもなく、一人で自宅におられるとのことから、同じ年代の方々と話しをしたり、歌を唄ったり、折り紙や手作業など好きな事をしてもらい、認知症の進行を少しでも抑えられるよう、平成 9 年にふれあいルームを設立し、平成 12 年に介護保険法が施行され、北海道より事業所の指定を受け、ふれあいルームから通所介護センターうらほろと名称したことを説明した。

その後、台所や浴室を見ていただき、入浴については車いすの方も、麻痺がある方も手すりや回転椅子を使い、心身、身体の状態を把握しながら利用者様一人で安心安全に入られるよう見守り、介助させていただいていることを説明し、会議室への移動を依頼した。

#### ④年間行事説明

横田生活相談員は年間行事について以下のように説明した。

- ・ 2 月 節分(豆まき)
- ・ 3 月 ひな祭り(お雛様を飾り、食事会)
- ・ 5 月 お花見(送迎時にお花がきれいな所を見学)
- ・ 6 月 留真温泉(事前に留真温泉と打ち合わせをし、入浴。その後昼食)
- ・ 10 月 避難訓練(保健福祉センター全体での避難訓練。当日の利用者様に参加していただく)
- ・ 12 月 クリスマス(クリスマスツリーを飾り、食事会)
- ・ 誕生会の開催 (利用者様の誕生月に開催)

#### ⑤一日の業務について

横田生活相談員は送迎から一日の業務について以下のように説明した。

- ・ 認知症介護において個別での対応や集団での対応を都度判断することが必要になり、送迎時、ご家族からの様子確認から、到着時の表情やバイタルにより、一日の流れを職員や看護師と相談し、決めさせていただいている。
- ・ 送迎は浦幌町全域で利用者様の身体状況や精神状況を考慮し、相乗り又は個別にてさせていただいている。
- ・ 到着後はお茶やお菓子を召し上がっていただきながらバイタル確認をさせていただいている。
- ・ バイタル確認後、体操やレクレーションに参加していただきながら、順番に入浴させていただいている。
- ・ レクレーションは、楽しく笑顔で参加できるよう心がけ、テーブルゲームや個別での製作を通して、日常動作の維持訓練や手先の訓練をしながら認知症の悪化予防に働きかけることを提供させていただいている。
- ・ 昼食は利用者様の病歴、嚥下状態や嗜好に考慮して調理し、食後は口腔洗浄を職員が一部介助させていただいている。

- ・仮眠後はテーブルでゲームやカラオケなどをして楽しんでいただき、自宅に送らせていただいている。

- ・送迎時、ご家族様がおられる方には、当日召し上がったものや体調の変化等をお伝えさせていただいている。

#### ⑥現在の利用者状況

横田生活相談員は現在の利用者様の状況について、以下のように説明した。

- ・9月27日現在、男性利用者様5名、女性利用者様16名、計21名
- ・月曜日 男性3名、女性6名
- ・火曜日 男性2名、女性3名
- ・水曜日 男性1名、女性8名
- ・木曜日 男性2名、女性6名
- ・金曜日 男性2名、女性7名
- ・営業日は月曜日から金曜日
- ・祝日は休み

#### ⑦質疑応答・意見交換等

《利用者様ご家族》

・・・通常ヘルパーは3人なのですか？

《横田生活相談員》

・・・ヘルパーは他にもおります。その日の利用者様の人数によってヘルパーの人数もかわります。例えば利用者様が9名の場合、ヘルパーは6名で対応させていただいております。

《利用者様ご家族》

・・・在宅のヘルパーもいるのですか？

《横田生活相談員》

・・・はい、在宅のヘルパーもおります。

《地域包括支援センター所長 志賀》

・・・送迎時、その日の状況を説明するとのことですが、書面で残しているのですか？

《横田生活相談員》

・・・口頭のみです。

《地域包括支援センター所長 志賀》

・・・口頭のみだと、利用者様を迎え入れている時に大事なことを聞いても、その後利用者様と関わっていると、ヘルパーが何を話したか忘れてしまう事もあるので、連絡帳のようなものを利用するのはどうか。

認知症対応型という事で、病院にかかり何か聞かれた際、連絡帳を見せて

デイサービスではこのような様子だと説明ができるのではないかな？

・・・今後このような会議の中で、事故報告やヒヤリハット等、検討してほしい。

《横田生活相談員》

・・・検討していきます。

《地域住民代表 斉藤様》

・・・昼食のメニューを夕食と重ならない様にしたいのですが、何を食べたか聞いてもわからないことが多いので、メモ紙で良いので渡してもらえませんか？

《管理者 佐藤》

・・・検討していきます。

#### ⑧閉会の挨拶

永澤事務局長は今回の会議において、開催が遅くなったことを陳謝し、ご意見、ご要望、苦情など随時申し出いただけるようお願い申し上げ、本日の出席に謝し閉会を宣した。

なお、次回開催は平成 30 年 3 月を予定した。

志賀さん、斉藤さんの意見に対し、検討した。

結果、送迎時ヘルパーがつかない時もあるので、個別に連絡手帳を用意する事にする。

.